

## 1. APG15-5会合の概要

日程・場所:平成27年7月27日(月)～8月1日(土)、(韓国)

審議内容 :WRC-15議題及びRA関連事項(主にRAG関連事項)について審議し、APT暫定共同提案(PACP)を作成

参加者 :APT(Asia-Pacific Telecommunity)加盟国等から各国電気通信主管庁、電気通信事業者、メーカー等500名程度が参加。日本からは、総務省、通信事業者、メーカー等、52名が参加。

## 2. WRC-19新議題についての審議(WRC-15議題10)

### 1. ワイヤレス電力伝送に利用される周波数関連事項と規制化の検討

#### 【背景・提案概要】

ワイヤレス電力伝送(WPT)については、世界各国で実用化の取組が進展しており、米国自動車技術者協会(SAE)でのEV用WPTの利用周波数の特定や本年6月のITU-R SG1 WP1Aでの周波数利用に関する勧告草案の作成等、国際的な周波数関連の議論が進んでいることを受け、APG15-5に対し、WRC-19新議題とする旨の寄書を入力。

#### 【審議・結果】

WPTは低出力機器であることを鑑みるとRRにおいて周波数を特定する必要はなく、ITU-Rにおける活動は勧告の作成に留め、産業界主導でハーモナイゼーションが推進できるとの指摘や、既存のWPT機器が利用する周波数帯についても検討の対象にすべきとの意見があり、オフラインを含めた調整を実施した結果、日本提案に各国の意見を反映させたWRC-19の新議題とするPACPを作成した。

### 2. 275GHz～1000GHz帯への陸上移動業務、固定業務等の導入

#### 【背景・提案概要】

- RRにおいて、275GHz以上の周波数帯は、現在、脚注により受動業務(地球観測衛星、宇宙科学、電波天文)について周波数が特定されている一方、能動業務については、受動業務を有害な干渉から保護することのみ記載。
- 近年、275GHz以上で動作可能なデバイスの研究開発の進捗が急速に早まってきていること、IEEE等においても議論が進行していることを受け、受動業務と能動業務が共用・共存を実現するため、前回会合であるAPG15-4にRRの脚注の改定または追加の検討をWRC-19新議題として提案。
- APG15-4の審議における各国からの指摘点などを反映した上で、APG15-5に対し、WRC-19新議題とする旨の寄書を入力

#### 【審議・結果】

審議においては、WRC-19における新議題とするのではなく、当該周波数の移動業務・固定業務向けの分配を目指す形でWRC-19の次のWRCに対する新議題とすることが適切ではないかとの指摘に対し、日本より、産業界によるテラヘルツ利用の需要が急増している現状も鑑みた上で、既に当該周波数の利用が特定されている受動業務を保護しつつ、移動業務・固定業務による当該周波数の利用を早期に支援していく必要性を説明するなど各国との調整を実施した結果、WRC-19の新議題とするPACPを作成した。

### 3. RA関連事項についての審議

#### 1. ITU-R決議1-6の8.3項を改訂するRA-15に向けたAPT共同提案のための見解及び提案(APG15-5/INP-54(豪))

##### 【提案概要】

SGやWP等への寄書の受領期限について、ITU-R決議1-6の8.3項にて、「会合開始の12日前までの提出が推奨され、7日前までにはいかなる場合でも寄与文書が受領されるようにしなければならない」とされているが、遠方の国などが寄書入力期限後十分な検討時間を確保出来るよう、寄書受領期限を12日前に統一すべき旨のAPT共同提案を作成することを提案

##### 【審議・結果】

中国、韓国より、実態に合わせ、会合開始7日前の単一期限とすべきコメントがあり、審議の結果、豪州の寄与文書を修正し、会合開始7日前の単一期限とするPACPを作成した。

#### 2. RA-15におけるITU-R決議5-6の改訂作業に関する事前検討(APG15-5/INP-36(日本、韓国))

##### 【提案概要】

日韓の共同提案としてRAG会合へ提出したITU-R決議ITU-R 5-6の暫定改訂案(※)についてのRAGでの検討結果及びRA-15に対しても本件を日韓の共同提案として入力する旨をAPG15-5に情報提供するもの。

※ 決議ITU-R 5-6の暫定改訂案

- ・Studies without Questionが1会期を越えて継続する場合はQuestionが必要との脚注を追加。
- ・Studies without Question 研究状況についてITU Web等を通じ加盟国へ周知されるよう規定を修正。

##### 【審議・結果】

中国より、脚注の追加は本当に必要か疑問だが韓国との共同提案でありPACPではないので削除を求めるわけではないとコメントあり。日韓の共同提案としてRA-15に入力することとなった。

#### 3. RA-15におけるITU-R決議2-6に関する作業のための事前検討(APG15-5/INP-96(韓))

##### 【提案概要】

CPMLレポート案の作成における各責任グループの作業をより効率的なものとするためCPMLレポートの議題の選択肢(Method)のadvantae, disadvantageの記載について規定するITU-R決議2-6 付属書2の改定についての検討を提案

##### 【審議・結果】

議長より、利点・欠点に含まれる情報は有益なものであるとのコメントがあった。また、豪州より具体的にどのような修正案を検討しているのか例を示すようコメントがあったものの、韓国からは具体的な修正案が示されなかったことから議論は終了。

#### 4. 決議ITU-R 38-4に規定しているSC議長の任期に関する事前検討(APG15-5/INP-97(韓国))

##### 【提案概要】

CPM及びSCは密接に活動を行っている一方、CPMIについては議長及び副議長の任期が一期であるのに対し、SCについてはSG同様最大二期まで延長可能とされているが、CPMとSCとの議長及び副議長の任期の違いにより生じる影響について、議論を行うべき旨提案

##### 【審議・結果】

CPMとSGの役割の違いについてコメントがされるなど、韓国の提案は支持されなかった。